

## ◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代男性)(第16週追加報告分)あり、症状は腹痛、水様性下痢、発熱です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となりました。  
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ マラリアの報告が1例(20歳代男性)(第16週追加報告分)あり、症状は発熱、悪寒、脾腫、血小板減少です。感染地域は国外(パプアニューギニア)で、感染経路は蚊です。本年初めての報告となっています。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)(第12週追加報告分)ありました。症状は下痢、粘血便です。感染地域及び感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ 百日咳の報告が1例(10歳代女性)(第14週追加報告分)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込みで、感染経路は家族内です。本年の累積報告数は13例となりました。
- ・ インフルエンザ及び小児科定点把握感染症は前週までと比べて大きな変化はありません。

## ◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を食い止めるため、令和2年4月16日、政府は全都道府県を緊急事態措置の対象とすることを発出し、特に京都府と12の都道府県を「特定警戒都道府県」と指定しました。さらに5月4日にはこの措置が5月31日まで延長されました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域<sup>\*</sup>, 感染経路<sup>\*</sup>の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- ・ 二類: 結核 7例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 76例(肺結核 43例, その他結核 6例, 潜在性結核感染者 27例)うち喀痰塗抹陽性 18例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 四類: マラリア(三日熱) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 13例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	第17週			第18週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ <sup>a</sup>	インフルエンザ <sup>a</sup>	0.03	2	インフルエンザ <sup>a</sup>	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	0.81	35	① 感染性胃腸炎	0.70	30
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	20	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	22
	③ 突発性発しん	0.37	16	③ 突発性発しん	0.23	10
	④ 手足口病	0.07	3	④ 伝染性紅斑	0.07	3
	⑤ 水痘	0.05	2	⑤ 水痘	0.05	2
	—————	—————	—	⑤ 流行性耳下腺炎	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2	流行性角結膜炎	0.10	1

### 【次ページ以降の主な内容】

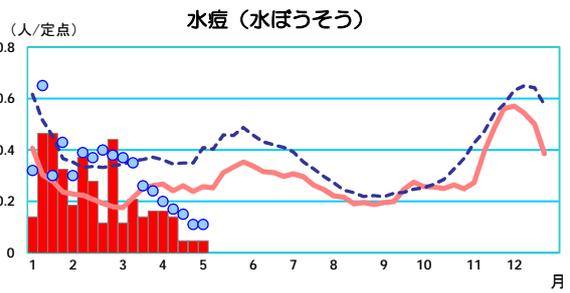
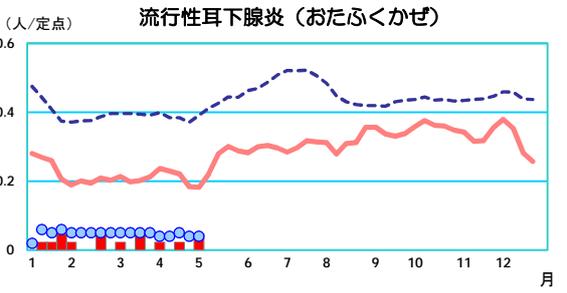
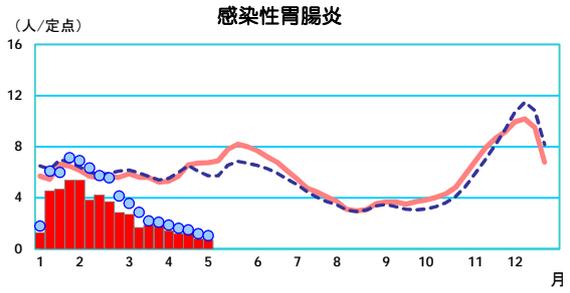
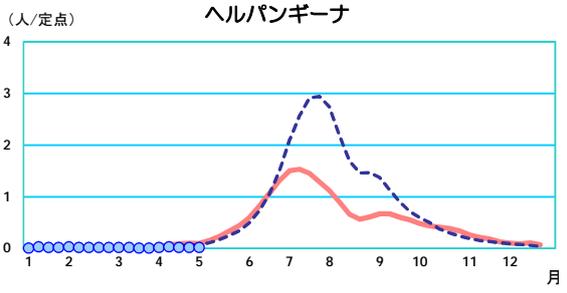
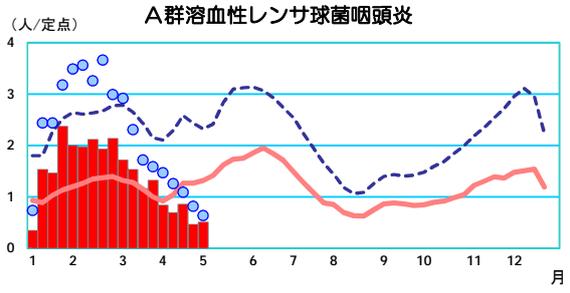
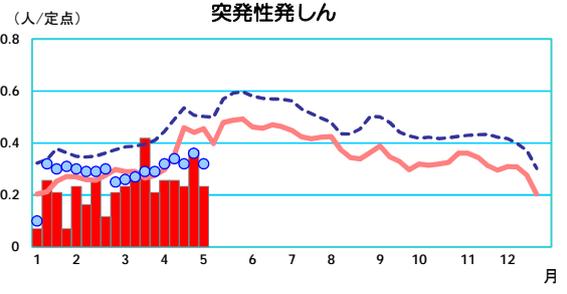
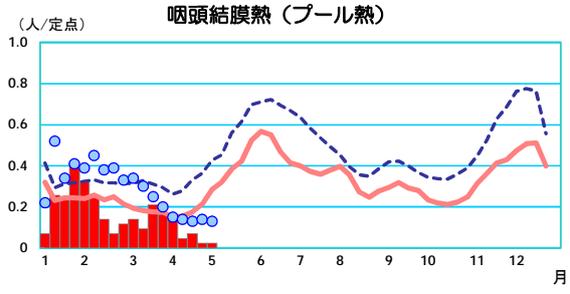
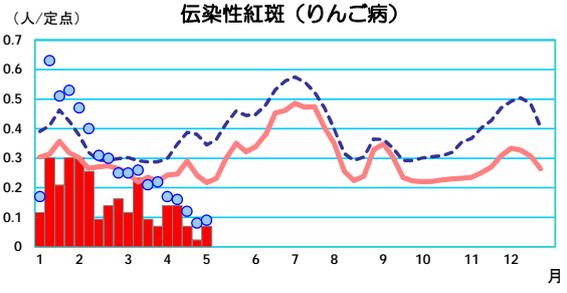
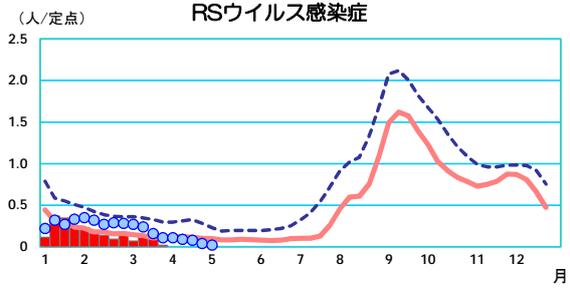
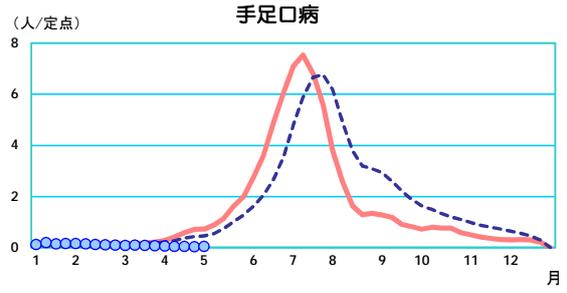
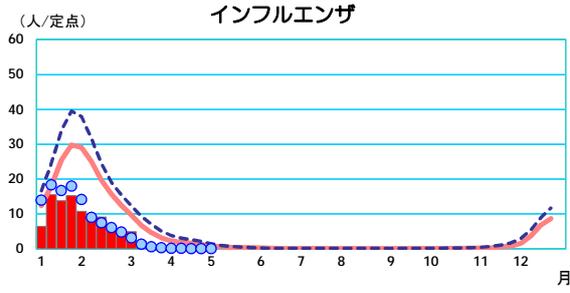
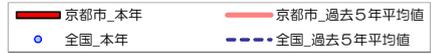
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年5月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

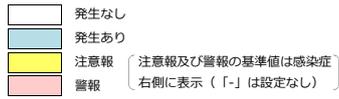
<sup>\*</sup> 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）

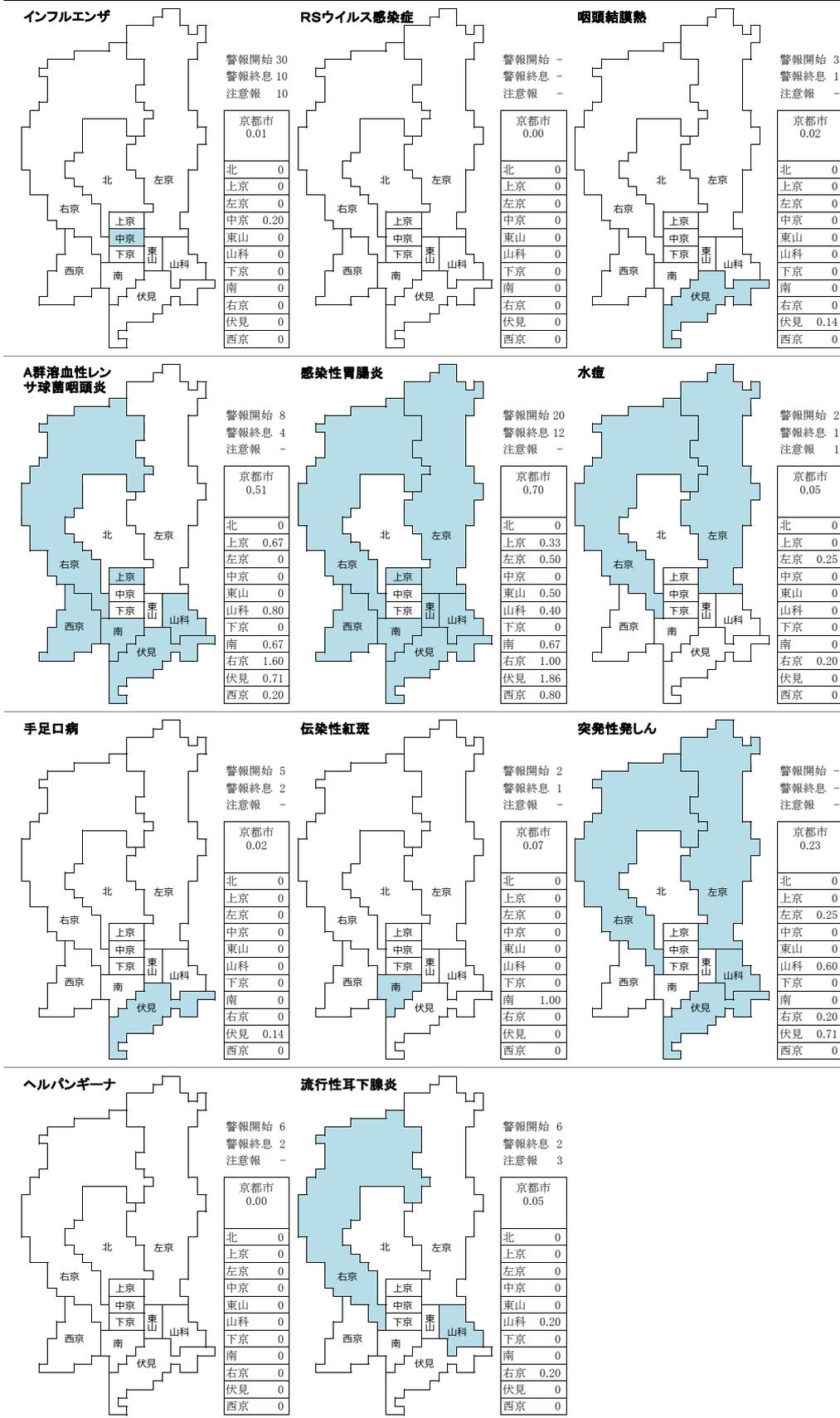




インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第18週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



## 第18週(4月27日～5月3日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を食い止めるため、令和2年4月16日、政府は全都道府県を緊急事態措置の対象とすることを発出し、特に京都府と12の都道府県を「特定警戒都道府県」と指定しました。さらに5月4日にはこの措置が5月31日まで延長されました。

今回の延長に伴い、政府は「特定警戒都道府県」以外の県では行動制限の一部を緩和する方向ですが、京都府を含む「特定警戒都道府県」では、これまでと同様の行動制限を求めています。下記の10ポイント(表1)を参考に、これまでと同様に人との接触を8割減らすことを継続してください。

また「かからない」「うつさない」ためには以下の対策が必要です。

- 手洗いが重要です。外出先から帰宅時や調理の前後、食事の前などにこまめに石けんと流水で手を洗いましょう。
- 新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。外出後や咳の後は特に、口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
- 咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど、咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は、しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。
- 発熱、せき等の症状で受診したいときは、直接行かずに、まず電話でかかりつけ医等に相談してください。



手洗い



咳エチケット

人との接触を8割減らす、10のポイント			(表1)
緊急事態宣言中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。 新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。			
1	ビデオ通話で オンライン帰省	2	スーパーは1人 または少人数で すいている時間に
3	ジョギングは 少人数で 公園はすいた時間、 場所を選ぶ	4	待てる買い物は 通販で
5	飲み会は オンラインで	6	診療は遠隔診療 定期受診は間隔を調整
7	筋トレやヨガは 自宅で動画を活用	8	飲食は 持ち帰り、 宅配も
9	仕事は在宅勤務 通勤は医療・インフラ・ 物流など社会機能維持 のために	10	会話は マスクをつけて
3つの密を 避けましょう 1. 換気の悪い密閉空間 2. 多数が集まる密集場所 3. 間近で会話や発声をする密接場面		手洗い・ 咳エチケット・ 換気や、健康管理 も、同様に重要です。	

新型コロナウイルス感染症専門家会議(4月22日)

京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

●帰国者・接触者相談センター

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号：075-222-3421

(電話番号は共通です)

2. 受付時間：土・日・祝日を含む24時間

○息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

○重症化しやすい\*方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

<相談の目安> (※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、  
免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

○上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

参考情報

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

# 京都市感染症発生動向調査情報

疾病,行政区別報告数

集計対象:2020年17週

2020年4月20日～2020年4月26日

データ入手日:2020年4月30日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	5	1	1	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1	6	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	2	3	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	3	16	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	2	-	1	20	35	2	3	1	16	1	-	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.00	0.20	0.20	0.40	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.33	2.00	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	0.40	0.60	-	-	-	0.80	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.43	2.29	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1.00	0.60	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.03	-	0.02	0.47	0.81	0.05	0.07	0.02	0.37	0.02	-	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

# 京都市感染症発生動向調査情報

疾病,行政区別報告数

集計対象:2020年18週

2020年4月27日～2020年5月3日

データ入手日:2020年5月11日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	2	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	8	5	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	1	5	13	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	-	1	22	30	2	1	3	10	-	2	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.80	0.40	-	-	-	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.67	0.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	1.60	1.00	0.20	-	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.14	0.71	1.86	-	0.14	-	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	-	0.02	0.51	0.70	0.05	0.02	0.07	0.23	-	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

年齢階級, 疾病別報告数

集計対象:2020年17週

2020年4月20日~2020年4月26日

データ入手日:2020年4月30日

京都市	年齢1	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	-	-	1	2	3	3	1	1	5	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		35	2	8	2	1	3	3	1	1	-	3	1	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-
水痘		2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	1	5	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.47	-	-	0.02	0.05	0.07	0.07	0.02	0.02	0.12	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		0.81	0.05	0.19	0.05	0.02	0.07	0.07	0.02	0.02	-	0.07	0.02	0.05	-	0.19	-	-	-	-	-	-
水痘		0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.37	0.02	0.12	0.16	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。  
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。  
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。  
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

年齢階級, 疾病別報告数

集計対象:2020年18週

2020年4月27日～2020年5月3日

データ入手日:2020年5月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	70歳以上						
インフルエンザ (※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		22	-	-	4	2	1	-	2	3	1	-	1	4	-	4	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		30	-	-	3	4	5	1	-	5	-	2	2	2	2	4	-	-	-	-	-	-	
水痘		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		10	-	2	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	70歳以上						
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.51	-	-	0.09	0.05	0.02	-	0.05	0.07	0.02	-	0.02	0.09	-	0.09	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		0.70	-	-	0.07	0.09	0.12	0.02	-	0.12	-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.07	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.23	-	0.05	0.16	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。  
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。  
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。  
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

週, 疾病別報告数

集計対象:2020年18週

データ入手日:2020年5月11日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)		47	32	12	2	2	1
RSウイルス感染症		1	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	6	2	3	1	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	36	30	37	20	22
感染性胃腸炎		77	61	52	64	35	30
水痘		7	7	6	2	2	2
手足口病		1	1	1	2	3	1
伝染性紅斑		3	6	6	3	1	3
突発性発しん		9	11	11	10	16	10
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-
流行性耳下腺炎		-	1	-	1	-	2
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	1	2	2	2	1
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-
合計		211	162	122	126	83	73

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)		0.68	0.46	0.17	0.03	0.03	0.01
RSウイルス感染症		0.02	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.16	0.14	0.05	0.07	0.02	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	0.84	0.70	0.86	0.47	0.51
感染性胃腸炎		1.79	1.42	1.21	1.49	0.81	0.70
水痘		0.16	0.16	0.14	0.05	0.05	0.05
手足口病		0.02	0.02	0.02	0.05	0.07	0.02
伝染性紅斑		0.07	0.14	0.14	0.07	0.02	0.07
突発性発しん		0.21	0.26	0.26	0.23	0.37	0.23
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-
流行性耳下腺炎		-	0.02	-	0.02	-	0.05
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-
合計		4.57	3.56	2.89	3.07	2.07	1.77

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。